

MI·RA·Is/PX

DDS 指紋認証環境構築手順

EVE MA 管理用端末

5 版 2017 年 12 月 27 日

改訂履歴

版数	改訂日	内 容	担当
初版	2017/7/1	新規作成	小島
2 版	2017/09/12	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「6.ローカルグループポリシーの設定」 ・ 手順 3 の画面イメージが「ユーザーのログオン時に実行するプログラムを指定する」の画面イメージとなっていた為「ユーザの簡易切り替えのエントリーポイントを非表示にする」のイメージに変更した。 	小島
3 版	2017/10/27	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「3.EVE MA クライアントのインストール」 以下セクションの削除 ・ 「3-2-4. [Client¥UserLink]セクション」 ※[Client¥UserLink]セクションの初期値を変更しない場合、 ユーザーリンク機能がインストールされないため、本手順は不要 ・ 上記セクションの削除に伴い「3-2-5.Install.ini ファイルの設定例」のイメージ変更 ※セクション数を「3-2-5」から「3-2-4」へ変更 ■ 「4.ID Manager のインストール」 下記セクションの記際追加 ・ 「4-1.IDManager.ini ファイルの編集」 ・ 「4-2.ID Manager for EVE MA のインストール」 	小島
4 版	2017/12/22	<p>下記セクションに「本手順は PC の Administrator 権限のあるユーザーで設定を行います。」の記載を追記した。</p> <p>「5-1.認証画面のユーザー名固定」</p> <p>「6.ローカルグループポリシーの設定」</p>	小島
5 版	2017/12/27	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「2-2-2.必要な関連ソフトウェアのインストーラー準備」 ・ サポートを終えている OS (Vista) の記載の削除および記載の変更 <p><削除箇所></p> <p>[Windows Vista 用リモート サーバー管理ツール入手先]</p> <p>https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=21090</p> <p><変更箇所></p> <p>赤文字の削除</p> <p>前) 「リモートサーバー管理ツール」をインストールすると、 Windows Vista / 7 / 8.1 / 10 で[Active Directory ユーザーと コンピューター] が使えるようになります。</p> <p>後) 「リモートサーバー管理ツール」をインストールすると、 Windows 7 / 8.1 / 10 で[Active Directory ユーザーと コンピューター] が使えるようになります。</p>	小島

目次

1.	概要	1
2.	事前準備	1
2-1.	ドメイン参加	1
2-2.	インストールに必要なファイルを準備する	1
2-2-1.	EVE MA クライアントのインストーラー準備	1
2-2-2.	必要な関連ソフトウェアのインストーラー準備	1
2-2-3.	ドライバーのインストーラー準備	2
3.	EVE MA クライアントのインストール	2
3-1.	ドライバーのインストール	2
3-2.	Install.ini ファイルの編集	2
3-2-1.	[Install]セクション	2
3-2-2.	[Client]セクション	3
3-2-3.	[Client¥GINA]セクション	3
3-2-4.	Install.ini ファイルの設定例	4
3-3.	EVE MA クライアントのインストール	5
4.	ID Manager のインストール	5
4-1.	IDManager.ini ファイルの編集	5
4-1-1.	[Install]セクション	5
4-1-2.	IDManager.ini ファイルの設定例	6
4-2.	ID Manager for EVE MA のインストール	7
5.	レジストリーの登録	7
5-1.	認証画面のユーザー名固定	7
6.	ローカルグループポリシーの設定	8

1. 概要

EVE MA 管理用端末の環境構築を目的とする。

2. 事前準備

2-1. ドメイン参加

管理用端末をドメインに参加させる

※既にドメインに参加している場合は不要です。

2-2. インストールに必要なファイルを準備する

2-2-1. EVE MA クライアントのインストーラー準備

インストール CD の「Software/.../client」フォルダー配下を、アクセス可能な任意の場所にコピーします。

「Software」フォルダー配下は、32bitOS 用と 64bitOS 用に分かれています。

2-2-2. 必要な関連ソフトウェアのインストーラー準備

管理用端末で EVE MA 管理ツールを利用する場合に必要です。

OS に合わせ以下 URL から「リモートサーバー管理ツール」のインストール用 msu ファイルをダウンロードします。

[Windows 7 用リモート サーバー管理ツール入手先]

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=7887>

[Windows 8.1 用リモート サーバー管理ツール入手先]

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=39296>

[Windows 10 用リモート サーバー管理ツール入手先]

<https://www.microsoft.com/ja-JP/download/details.aspx?id=45520>

※「リモートサーバー管理ツール」をインストールすると、Windows 7 / 8.1 / 10 で [Active Directory ユーザーとコンピューター] が使えるようになります。

「リモートサーバー管理ツール」のインストール後に[プログラムと機能] - [Windows 機能]をクリックします。

[リモートサーバー管理ツール] - [役割管理ツール] - [AD DS および AD LDS ツール] - [AD DS ツール] を選択して有効化します。

2-2-3. ドライバーのインストーラー準備

インストール CD の「Driver」フォルダー配下を、アクセス可能な任意の場所にコピーします。

3. EVE MA クライアントのインストール

3-1. ドライバーのインストール

DDS 社指紋認証機能を使用するには、ドライバーのインストールが必要です。

使用するユニットに合わせ DDS 社提供の手順書に従いドライバーのインストールを行います。

<UBF-neo>

『指紋認証ユニット マニュアル UBF-neo.pdf』の『3.ドライバーのインストール』を参照

<Windows 10 で UBF-neo (UB-H722) を利用する場合>

『指紋認証ユニット マニュアル UBF-neo.pdf』の『4.Synaptics WBF ドライバー』を参照

<UBF-Tri>

『指紋認証ユニット マニュアル UBF-Tri.pdf』の『3.ドライバーのインストール』を参照

※上記手順書は DDS 社より提供されている媒体の「Document」フォルダーに含まれています。

3-2. Install.ini ファイルの編集

install.iniは、EVE MAクライアントを設定するテキストファイルです。

インストール前にinstall.iniを編集してEVE MAクライアントインストーラーを実行すると、install.iniの設定値が反映されます。

「2-2-1 EVE MAクライアントのインストーラー準備」でコピーした「client」フォルダー配下のinstall.ini.sampleをinstall.iniにリネームして、「3-2-1 [Install]セクション」から

「3-2-5 Install.iniファイルの設定例」を参考に編集します。

3-2-1. [Install]セクション

「Windows ログオン時の認証機能」「EVE MA 管理ツールのインストール」のみインストールする設定とする。※「;」を削除すること。

<変更前>

```
[Install]
;WindowsLogon = TRUE
;MAUtil = TRUE
;MAAdmTool = FALSE
;TinyServer = TRUE
```

<変更後>

```
[Install]
WindowsLogon = TRUE
MAUtil = FALSE
MAAdmTool = TRUE
TinyServer = FALSE
```

3-2-2. [Client]セクション

接続先 EVE MA サーバーとポート番号を指定します。

[Client]セクションに関しては「[EVE MA インストールマニュアル.pdf](#)」 / 「4 クライアント構築」 / 「4.4.2 install.ini の設定値」の「セクション [Client]」を参照して設定を行う。

※「[EVE MA インストールマニュアル.pdf](#)」の手順書は DDS 社より提供されている媒体の「Document」フォルダーに含まれています。

3-2-3. [Client¥GINA]セクション

「Windows Logon Lite」のログイン方式 (AppID = 50008) とする。

<初期状態のまま変更しない>

[Client¥GINA]

AppID = **50008**

;MSGinaPassword = "コマンド <maconfig --gen-winlogon-keyword> から出力された文字列"

3-2-4. Install.ini ファイルの設定例



```
install.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[Install]
WindowsLogon = TRUE
MAUtil = FALSE
MAAdmTool = TRUE
TinyServer = FALSE

[EVEMA]
;UserLinkDefaultComputerName = wgclient01.dds.local
;UserLinkDomainName = dds.local
;EventLogCulture = 1041

[Client]
Server0 = https://192.168.x.x:10024
Server1 = https://192.168.x.x:10024
ServerCertSubject = EVEMA_SERVER

[Client%GINA]
AppID = 50008
;MSGinaPassword = "コマンド <maconfig --gen-winlogon-keyword> から出力された文字列"

[Client%Agent]
EnableOfflineCaching = 1

[Client%Agent%CardLock]
;EnableCardLock = 1

[Client%Agent%AwayLock]
;EnableAwayLock = 0

[Client%Agent%OfflineCaching]
;EnableLogonas = 0

[Client%UserLink]
;UserLinkAdmTool = 1
;UserLinkLogon = 1
;UserLinkLogonDefault = 1

[Client%LogTransfer]
;EnableLogTransfer = 1
;Interval = 60

[Option]
;StartSCardSvr = FALSE
;StartCertPropSvc = FALSE
```

※[Client]セクションの設定は初期値のまま表示しています。
現地の環境にあった値に設定してください。

3-3.EVE MA クライアントのインストール

1. 「3-2.Install.ini ファイルの設定」で編集した `install.ini` をインストーラーと同じ階層に配置してインストーラー `MAClient_xxx_y.y.y.zzzzz.exe` を実行します。
2. 画面の指示にしたがってインストールします。
3. インストール終了後、PC を再起動します。

【注意事項】

- **EVE MA** をインストールすると **Microsoft** アカウントが利用できません。
- **Windows10** に **EVE MA** をインストールすると、**Windows Hello** を使ったサインインは利用できません。

4. ID Manager のインストール

4-1.IDManager.ini ファイルの編集

IDManager.ini は、ID マネージャーをカスタマイズするための設定ファイルです。
インストール前に IDManager.ini を編集して ID マネージャーのインストーラーを実行すると IDManager.ini の設定値が反映されます。

インストール CD の「Software¥...¥IDM for EVE MA」フォルダーを、アクセス可能な任意の場所にコピーします。「Software」フォルダー配下は、32bitOS 用と 64bitOS 用に分かれています。

「IDM for EVE MA¥sample」配下の「IDManager.ini.sample」を「IDManager.ini」にリネームして「4-1-1. [Install]セクション」「4-1-2 .IDManager.ini ファイルの設定例」を参考に編集します。編集後、「IDM for EVE MA」フォルダー配下にコピーします。

4-1-1. [Install]セクション

[Cancelclose]キーを認証キャンセル時にウィンドウを閉じない設定とする。

<変更前>

[Client]

； 認証キャンセル時にウィンドウを閉じるかどうか

； 0：閉じない

； 1：閉じる（既定値）

CancelClose=1

<変更後>

[Client]

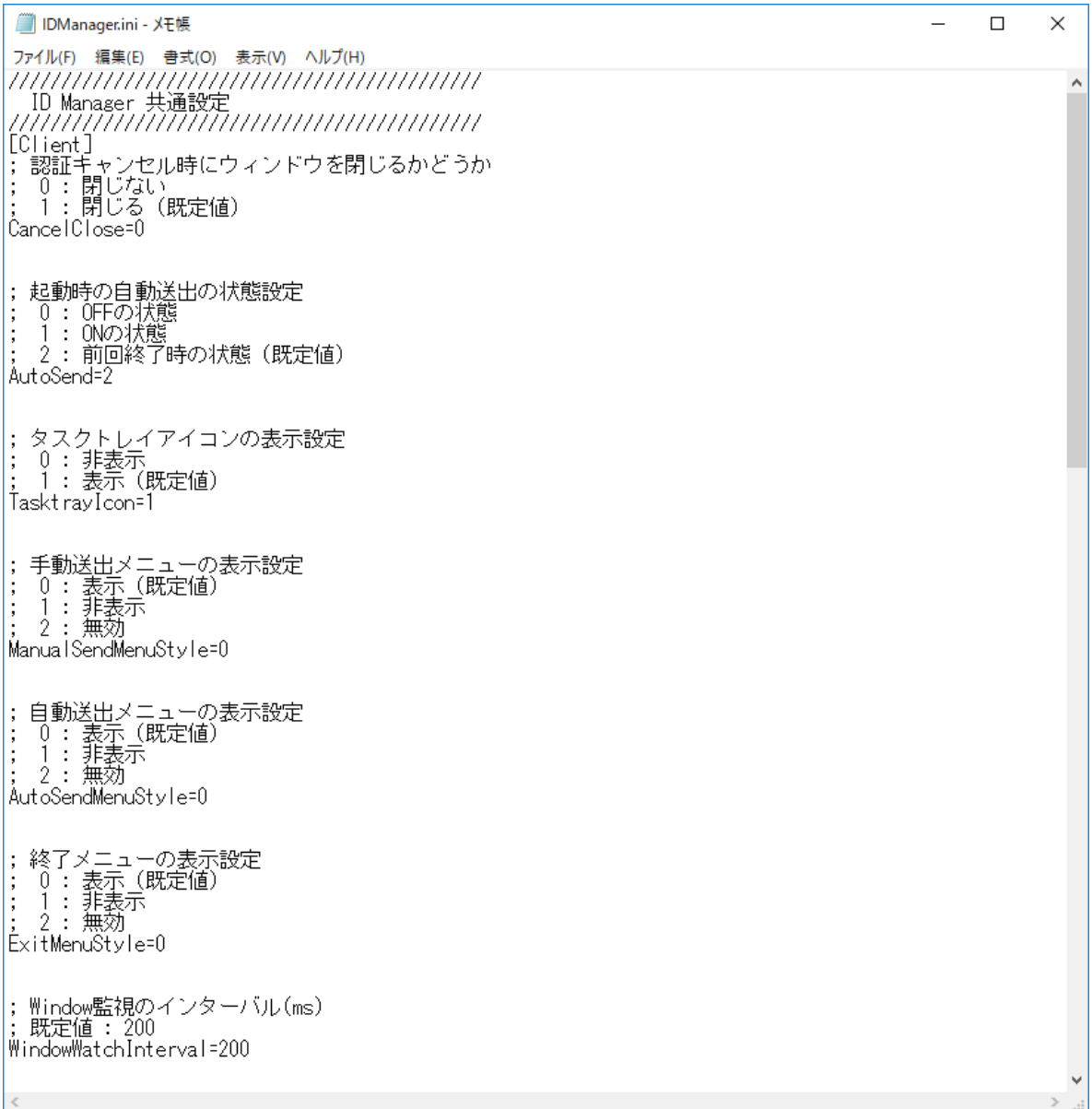
; 認証キャンセル時にウィンドウを閉じるかどうか

; 0 : 閉じない

; 1 : 閉じる (既定値)

CancelClose=0

4-1-2. IDManager.ini ファイルの設定例



```
IDManager.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
////////////////////////////////////
ID Manager 共通設定
////////////////////////////////////
[Client]
; 認証キャンセル時にウィンドウを閉じるかどうか
; 0 : 閉じない
; 1 : 閉じる (既定値)
CancelClose=0

; 起動時の自動送出しの状態設定
; 0 : OFFの状態
; 1 : ONの状態
; 2 : 前回終了時の状態 (既定値)
AutoSend=2

; タスクトレイアイコンの表示設定
; 0 : 非表示
; 1 : 表示 (既定値)
TasktrayIcon=1

; 手動送出しメニューの表示設定
; 0 : 表示 (既定値)
; 1 : 非表示
; 2 : 無効
ManualSendMenuStyle=0

; 自動送出しメニューの表示設定
; 0 : 表示 (既定値)
; 1 : 非表示
; 2 : 無効
AutoSendMenuStyle=0

; 終了メニューの表示設定
; 0 : 表示 (既定値)
; 1 : 非表示
; 2 : 無効
ExitMenuStyle=0

; Window監視のインターバル(ms)
; 既定値 : 200
WindowWatchInterval=200
```

※[Cancelclose]キー以外の設定は必要な場合以外変更しないでください。

4-2.ID Manager for EVE MA のインストール

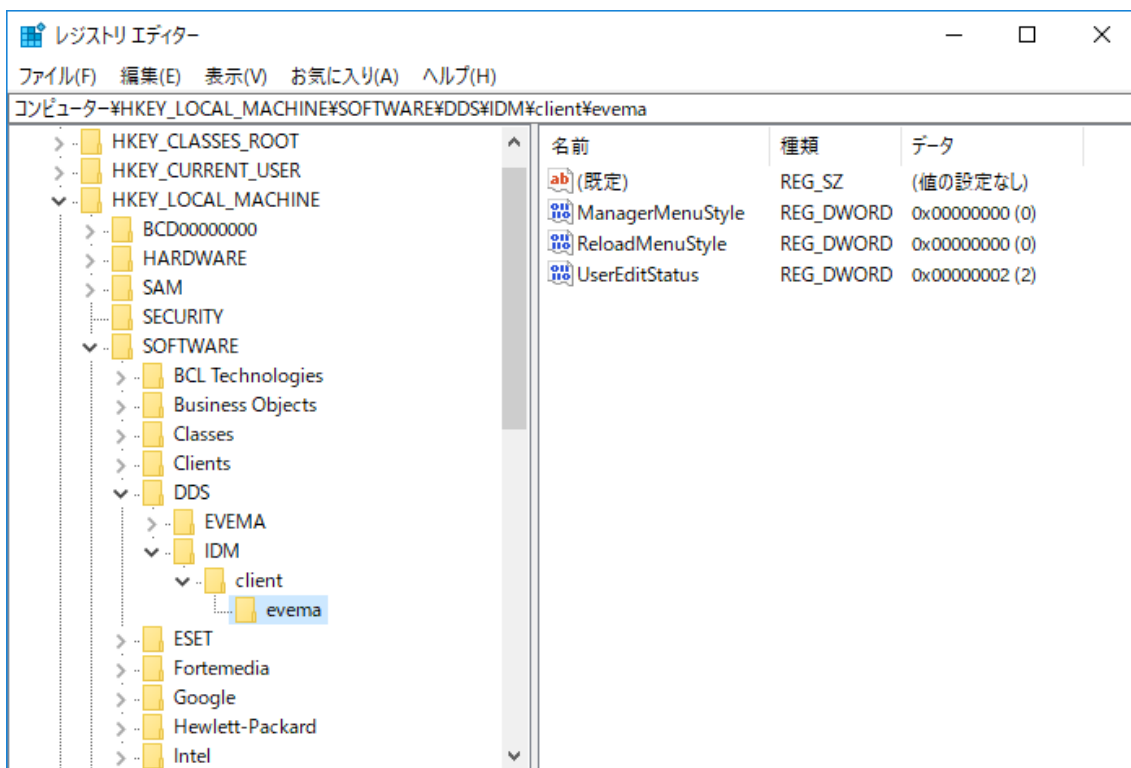
1. 「IDM for EVE MA」フォルダー配下の「IDMForEVEMA_xXX_y.y.zzzzz.exe」を実行する。
2. 画面の指示にしたがってインストールします。
3. インストール終了後、PC を再起動します。

5. レジストリーの登録

5-1.認証画面のユーザー名固定

本手順は PC の Administrator 権限のあるユーザーで設定を行います。

DDS 認証画面にてユーザー変更を制限する為に下記レジストリーの登録を行う。



[パス] HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\DDS\IDM\client\EVEMA

[名前] UserEditStatus

[種類] REG_DWORD

[値] 2

※client キー直下に evema キーが作成されていない場合、手動で作成する。

※evema キー直下に UserEditStatus が作成されていない場合、手動で作成する。

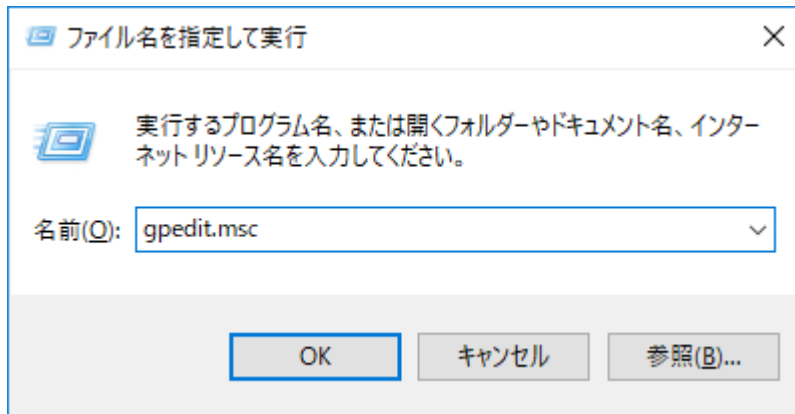
※本設定を行った場合であっても Windows ログイン時、管理ツールログイン時の DDS 認証画面ではユーザー変更は可能です。

6. ローカルグループポリシーの設定

本手順は Windows10 のみ必要な手順となります。Windows10 より前のバージョンでは必要ありません。

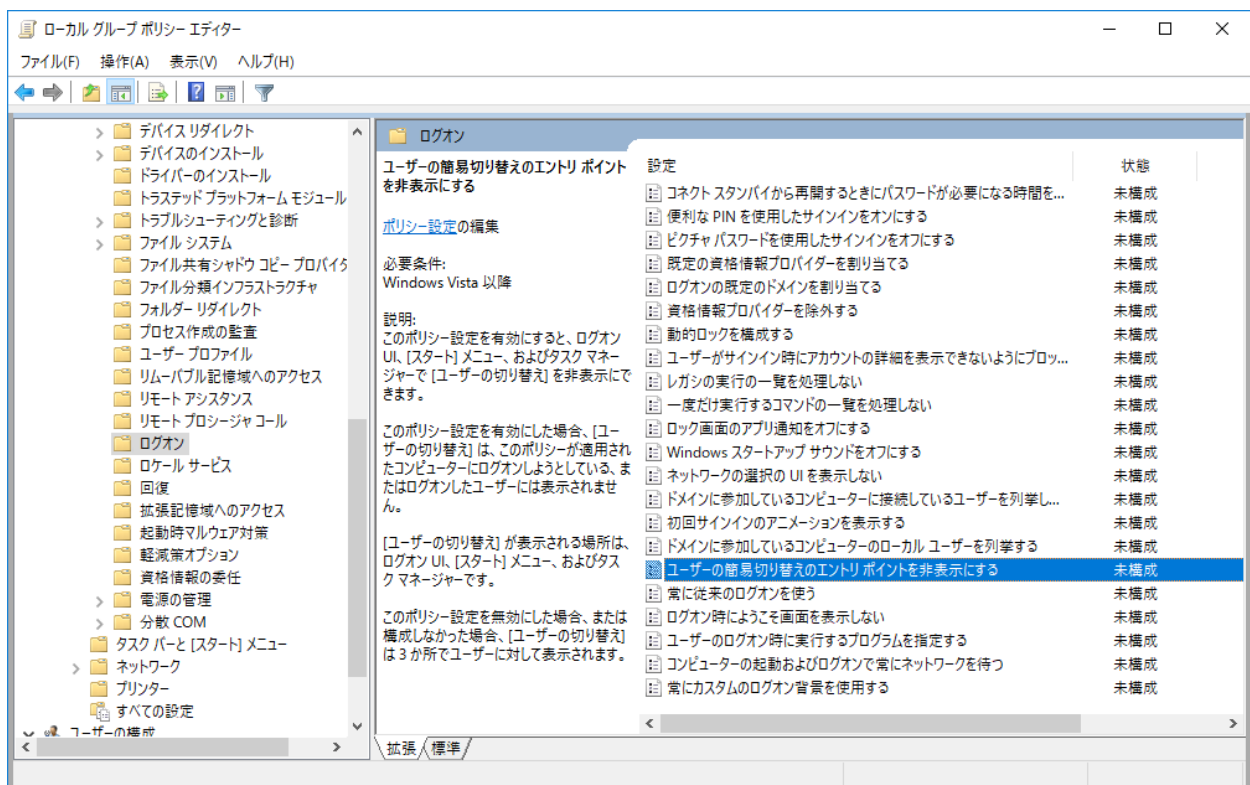
本手順は PC の Administrator 権限のあるユーザーで設定を行います。

1. 「ファイル名を指定して実行」を開き「gpedit.msc」を入力して「OK」を押下する。

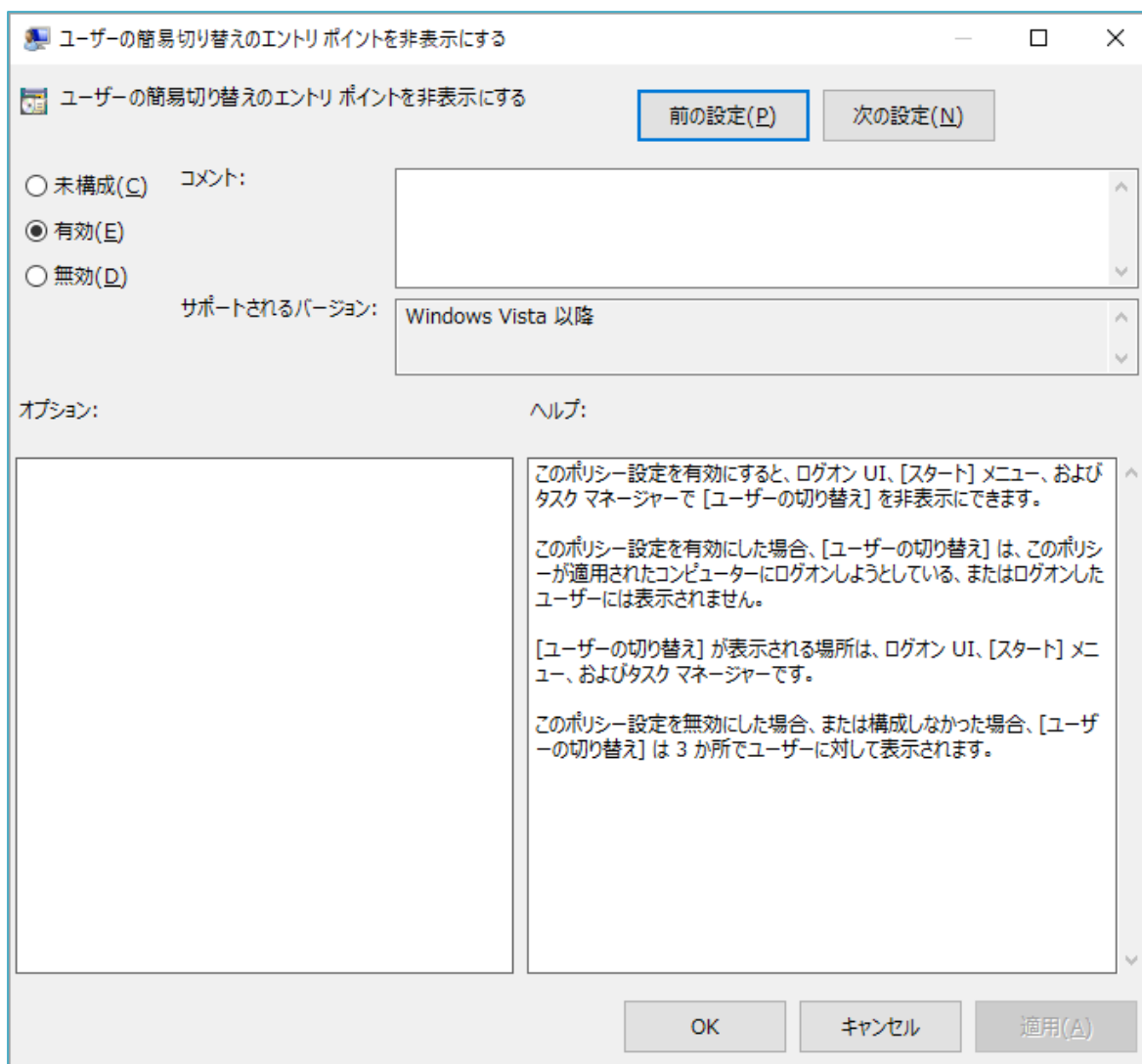


※「ファイル名を指定して実行」は Windows キー+「R」で起動する。

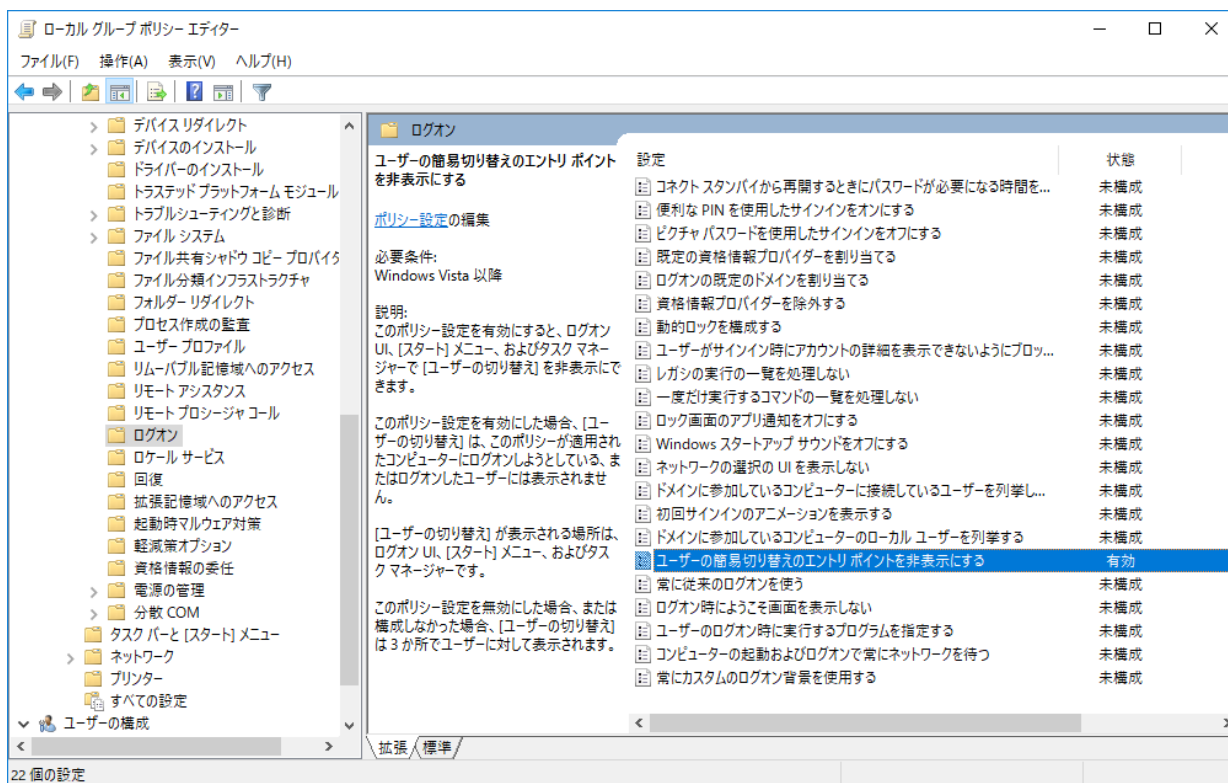
2. 「コンピュータの構成管理用テンプレートシステムログオン」にある「ユーザの簡易切り替えのエントリポイントを非表示にする」をダブルクリックする。



3. 「ユーザの簡易切り替えのエントリポイントを非表示にする」が起動するので、「有効」にチェックを付け「適用」→「OK」の順で押下し画面を閉じる。



4. 「ユーザの簡易切り替えのエントリポイントを非表示にする」が「有効」になっている事を確認し画面を閉じる。



DDS 指紋認証環境構築手順

5 版 2017 年 12 月 27 日

 株式会社シーエスアイ

〒003-0029 札幌市白石区平和通15丁目北1番21号
電話：011-861-1500 FAX：011-861-1510